

課題評価「高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発」(中間評価)

「中間評価」の評価項目と評価の視点について

評価項目	評価の視点	
1) 研究開発の目的・意義(研究開発の必要性)	①国費を用いた研究開発としての意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や社会のニーズへの適合性はよいか</li> <li>科学的・技術的意義, 社会的・経済的意義も加味</li> </ul>
2) 研究開発の目標・計画と成果(研究開発の有効性)	①計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の設定は妥当であったか</li> <li>各研究項目の設定, 内容の質・量・組合せは適切か</li> </ul>
	②目標実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に対し実現可能な計画であったか</li> </ul>
	③成果の達成度, 反映先に対する十分性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に対して達成度は十分か</li> <li>成果の反映先(国, 実施主体, 安全規制)に対して成果の質・量, タイミングは適切か</li> <li>国際的な水準としてどうか</li> </ul>
	④人材養成・知的基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材養成・技術継承につながるか</li> </ul>
	⑤次期計画の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の見通しとして適切か</li> </ul>
3) 研究開発実施体制(研究開発の効率性)	①実施体制の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発を推進するうえで, 機能を十分発揮できる組織となっているか</li> </ul>
	②研究開発の手段やアプローチの妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>判断と次のステップへの移行の考えは妥当であるか</li> </ul>
	③目標・達成管理の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発のPDCA サイクルが機能する自己評価体制となっているか</li> </ul>
	④費用対効果の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果として合理性があるか</li> </ul>
	⑤情報発信, 国民との相互理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な内容となっているか</li> </ul>
4) その他	副次的な効果に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>他分野への応用や貢献は適切なものか</li> </ul>
5) 総合評価	上記各項目の評価を踏まえた総合的な判断	